

中学歴史プリント（書き取り）
昭和時代（戦後）

名前

得点

/20

- 問1 1950年代後半から1970年代初めにかけて続いた、日本の国民総生産が急激に伸びた時期のことを何という？
- 問2 高度経済成長に伴い、工場排水や排気ガスなどが原因で深刻化した、生活環境を破壊する社会問題を何という？
- 問3 1955年にアジア・アフリカ諸国が団結し、インドネシアで開催された会議を何という？
- 問4 1973年の原油価格急騰を招き、世界経済に大きな混乱を引き起こした戦争を何という？
- 問5 太平洋沿岸に建設され、原料の輸入や製品の輸出を有利にするために作られた、製鉄所や工場が集まる巨大な施設を何という？
- 問6 1973年の第四次中東戦争を背景に、原油価格が急騰し世界経済に打撃を与えた出来事を何という？
- 問7 日本において、男女に選挙権が与えられた最初の選挙が行われたのは西暦何年？
- 問8 1951年に日本が主権を回復し、国際社会に復帰するために調印された条約の交渉にあたった当時の首相は誰？
- 問9 高度経済成長期に、所得の増加に伴い一般家庭へ急速に普及した、白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫の総称を何という？
- 問10 1951年に締結され、日本の主権回復と国際社会への復帰の基礎となった講和条約を何という？
- 問11 1947年に制定された教育基本法が掲げた、戦後の日本の教育の根本理念は何という？
- 問12 サンフランシスコ平和条約が調印された際、日本を代表して署名した内閣総理大臣は誰？
- 問13 1972年に日本と中国の間で国交正常化が行われた際に署名された外交文書を何という？
- 問14 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が繰り広げた、直接的な武力衝突を伴わない対立状態を何という？
- 問15 1970年頃に、65歳以上の人口割合が増加し、社会全体で高齢者の比率が高まった状態を何という？
- 問16 1925年に開始され、戦後の情報伝達の多様化に大きく貢献した音声による通信メディアを何という？
- 問17 第二次世界大戦後、日本を占領して民主化政策を進めた連合国軍の機関を何という？
- 問18 1950年代半ばから1970年代初めまで続いた、日本の経済が急速に発展した時期を何という？
- 問19 第二次世界大戦後、アメリカ軍の統治下に置かれていたが、1972年に日本へ施政権が返還された地域を何という？
- 問20 1951年のサンフランシスコ平和条約に全権として調印し、戦後の日本の国際社会復帰を導いた首相は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 高度経済成長	神武景気やいざなぎ景気など、長期間にわたる景気拡大が続き、家電製品や自動車の普及が急速に進みました。この驚異的な成長を「高度経済成長」と呼びます。
問2	答え 公害問題	水俣病や四日市ぜんそくなど、特定の地域で甚大な健康被害が発生しました。これら一連の問題は「公害問題」と呼ばれ、社会的な議論が起こりました。
問3	答え バンドン	1955年、インドネシアの都市バンドンにおいて、アジアとアフリカの29カ国が集まり「アジア・アフリカ会議」が開かれました。植民地主義に反対し、新興独立国の団結を世界に示しました。
問4	答え 第四次中東戦争	1973年10月、エジプトやシリアがイスラエルに対して攻撃を開始したことで第4次中東戦争が始まりました。アラブ石油輸出国機構は、イスラエルを支援する欧米諸国などに対して石油の輸出制限や禁輸措置を行いました。これにより世界の石油供給が減少し、価格が数倍にまで高騰しました。この「石油危機」により、多くの国で物価が急騰する「狂乱物価」が発生しました。
問5	答え 石油化学コンビナート	原料を運び込みやすい海沿いに、製油所や化学工場などを一つの地域に集めた「石油化学コンビナート」が建設されました。これらが太平洋沿岸に連なり、太平洋ベルトと呼ばれる巨大な工業地帯が形成されました。
問6	答え 石油危機	1973年に第四次中東戦争が発生すると、OPEC（石油輸出国機構）が石油の輸出を制限し、価格を急激に引き上げました。これを受けて日本国内でも買い占め騒動が起き、物価が急上昇して「狂乱物価」と呼ばれる状況となりました。
問7	答え 1945	1945年12月の衆議院議員選挙法改正により、選挙権を持つ年齢が満25歳以上から満20歳以上に引き下げられるとともに、これまで認められていなかった女性にも選挙権が付与されました。
問8	答え 吉田茂	吉田茂は、戦後の日本で長期間首相を務め、サンフランシスコ平和会議に日本全権として出席しました。彼が調印したサンフランシスコ平和条約により、日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。保守的な政治家として、経済復興を優先しアメリカとの協力を重視する「吉田ドクトリン」を打ち立てた人物です。
問9	答え 三種の神器	当時の最新家電である白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫は、人々の家事労働を軽減し、暮らしを豊かにする象徴として「三種の神器」と呼ばれました。この名称は、天皇家に伝わる宝物に例えられたほど、庶民にとっての憧れと生活の質の向上を意味していました。
問10	答え サンフランシスコ平和条約	1951年にアメリカなど多くの連合国と締結された条約です。これにより日本は主権を回復し、連合国軍の占領は終了しました。同時に吉田茂首相が署名し、日本は国際社会の一員としての地位を取り戻しました。
問11	答え 民主主義教育	民主主義教育は、教育基本法に基づき、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を愛する国民を育てることを目指しました。これにより、生徒の自主性や主体的な学びが重視されるようになり、男女共学や教育の機会均等が制度として定着しました。
問12	答え 吉田茂	吉田茂は、自民党の前身となる自由党の総裁であり、戦後の混乱期に総理大臣を務めました。サンフランシスコ平和条約の全権として渡米し、条約に署名することで日本の主権回復に大きな役割を果たしました。彼の外交姿勢は「吉田ドクトリン」とも呼ばれ、軽武装・経済重視の政策を象徴しています。
問13	答え 日中共同声明	1972年、田中角栄首相が訪中し、毛沢東主席らとの会談を経て発表されました。この声明により、日本は中国政府を「中国の唯一の合法政府」として承認し、戦争状態の終結を確認しました。
問14	答え 冷戦	冷戦は、軍事的な直接衝突を避けながら、兵器開発や宇宙開発、あるいは各国の政情への介入などを通じて行われた世界的な対立構造です。
問15	答え 高齢化社会	1967年に総人口が1億人を突破し、1970年には65歳以上の高齢者の割合が7%を超え、日本は「高齢化社会」に突入しました。これは出生率の低下と長寿化が背景にあります。
問16	答え ラジオ放送	1925年に日本で初めての放送が開始され、ニュースや娯楽などを遠方に住む人々へ同時に伝えることが可能になりました。テレビ放送が普及するまでの間、国民生活に欠かせない情報源となりました。
問17	答え GHQ	GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）は、最高司令官マッカーサーの下で、軍の解体や政治犯の釈放、新しい憲法の制定、農地改革などの政策を強く指導しました。日本の主権は制限されていましたが、民主的な政治体制の土台がこの機関によって作られました。
問18	答え 高度経済成長期	重化学工業を中心に生産が拡大し、国民の所得も大幅に上昇しました。この時期、国民生活は大きく豊かになり、家庭電化製品が急速に普及しました。
問19	答え 沖縄	サンフランシスコ平和条約でも日本から切り離され、長らくアメリカの統治が続きました。沖縄の人々による返還運動が広がり、1972年ようやく日本への施政権が返還されました。
問20	答え 吉田茂	吉田茂は内閣総理大臣として、アメリカを中心とする連合国との間でサンフランシスコ平和条約に調印しました。これにより日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。